



広報紙 51 号 2023年4月1日
「TAMA市民塾」発行
〒183-0056 府中市寿町1-5-1
府中駅北第2庁舎6階
多摩交流センター内
TEL/ FAX 042-335-0111

世論調査にみる日本の生涯学習

TAMA 市民塾・塾長 宮本 謙介

1990年に「生涯学習振興法」が成立して30年以上が経過しましたが、「生涯学習」は広く日本社会で受け入れられているのでしょうか。今回は内閣府がおこなった生涯学習の世論調査から、その実態を見てみましょう。

内閣府の調査は、2018年6月～7月に全国18歳以上の3000人（有効回答1710人）を対象に過去1年間の生涯学習への参加について調査したものです。以下、特徴的と思われる調査結果を簡単にまとめてみます。

①過去1年間に「学習したことがある」と回答した人は58.4%、その内容では「インターネット」22.6%、「職場の教育、研修」21.5%、「自宅での学習活動（書籍など）」（17.8%）、「テレビやラジオ」（14.5%）、「図書館、博物館、美術館」（13.8%）などの順（複数回答、以下同じ）。

②「学習する理由」では、「教養を深めるため」37.1%、「人生を豊かにするため」36.2%、「仕事における必要性」32.7%、「家庭や日常生活に生かす」32.1%、「健康の維持・増進」29.9%など。

③「学習成果の活用状況」については、「生かしている」が94.8%で、その内容は「自分の人生を豊かにしている」50.5%、「仕事上で生かしている」47.9%、「家庭や日常生活に生かしている」40.0%、「健康の維持・増進に役立っている」31.5%など。

④「学習をしたことがない」と回答した人は41.3%、その理由では、「仕事が忙しく時間がない」33.4%、「特に必要がない」31.1%、「きっかけがつかめない」15.8%、「身近に学習の場がない」7.9%など。

⑤「今後の学習」に関する質問では、「学習したい」との回答が82.3%、その内容では「趣味的なもの（音楽、美術など）」39.3%、「健康・スポーツ」34.0%、「職業上必要な知識・技能」31.1%、「教養的なもの（文学、歴史、語学など）」22.6%など。

（性別・年齢別などの詳しいデータは内閣府HPを参照してください。）

調査結果の詳しい分析は割愛しますが、「学習したい」人82.3%に対して実際に「学習した」人は58.4%であり、生涯学習の活動がまだまだ人々の学習意欲に十分には応えられていないと言えそうです。また「学習したい内容」を年齢別に見ると、50歳以上では「教養的なもの」や「健康・スポーツ」などが多く、中高年の受講者が多いTAMA市民塾の講座内容ともびったり重なっています。

TAMA市民塾としても、生涯学習のこうした状況を踏まえて、多摩市民の皆さんの学習意欲に応えるとともに、地域の仲間づくり（知縁コミュニティ）に貢献できればと考えています。

講座：木彫～手のひらサイズのネコを作る

講師：橋浦ひろみ

木彫、なんて聞くと、なんだか敷居が高くなりそう、とお考えのかた、そんなことはありません。

まずは

大きさです。僅か、7cmくらいの高さのネコちゃん、まさに手のひらサイズです。

二つ目は

軽くて柔らかい材料のバルサを使います。

出来上がったネコちゃんを持ち上げて、ワッ軽いと皆さん驚かれます。

これ、何でできてるの？という質問がきます。焼き物かと思った、という答えもしばしば聞かれます。実際、そんな風にも見えます。

三つ目は

使う道具です。普段の生活でなじみ深いカッターナイフで彫ります。

いつも手許にある、あの紙を切ったり、鉛筆を削ったりする、あのカッターナイフです。

ですから、ノミや彫刻刀をイメージしている方、かなりハードルが低いです。

四つ目、

あとは紙やすり、これも馴染みがあるでしょう。これでやさしく形を整えて、仕上げのワックス、これも特別なものではなく、オリーブオイルやその他身近にあるオイルで表面を優しく整えます。

最後に、これが実は優しくもあり、最高に気合の入る部分ですが、ペン（耐水性）で目、鼻、口、おひげを描き入れて、完成です。どれも、楽しい作業です。



一つ作ると、二つ目を作りたくなること請け合いです。一つ一つすべて、違うという、まるでペットのようなものです。

形も、様々なバリエーションが可能です。

ちょっと背が高い子、小さな子、大きな子、いろいろです。この先いろいろ発展させていけますよ。

余り根を詰めると、疲れますから、楽しくおしゃべりしながら進められます。

おっと、そうはいつでも油断禁物。アッ、チャー、手を切っちゃった！なんてことにならないように。

講座:戦国史への招待『信長天下へ』

塾生：小菅 重嘉

この講座の担当は、織茂一行講師です。

子どもの頃の私は戦国武将が大好きな少年で、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康等のきらめく武将達が大活躍する漫画や児童文学書、テレビドラマを時間が有れば勉強もせずに読んだり見たりしていました。

特に小学4年生の時、毎日曜日の夜にNHK大河ドラマで「太閤記」が放映されて、それを観た次の日の月曜日は、通学中や昼休み時間には決まって、クラスの友人達と高橋幸治の信長が、「桶狭間の合戦」シーンがかっこいいとか、緒形拳の藤吉郎が墨俣城を一日で築いた話などを、授業が始まり先生から注意されるまで話をする事が楽しみの一つだったことを思い出します。

今回、TAMA 市民塾で織茂一行先生の「戦国史への招待 信長天下へ」の知らせを見て、子どもの頃の感動を再び味わいたいと思い、直ぐに講座の申し込みをしました。講座が始まると、私が知っている武将達の実際の戦(いくさ)は、勝者のシナリオや江戸時代以降の作家の脚色により変えられて、歴史の定説として現代に残っている事を知りました。

先生はその違いの部分で、その時の武将達の書状や公家達の日記や信長の家来の太田牛一が書いた「信長公記」の史実に近い一次史料を数多く取り上げて、丁寧

に、ある時はキッパリとした口調で真実の歴史を講義して下さいました。



私はこの講座で今まで知らなかった歴史の扉を開け「真実」を知る喜びを得ました。このような機会を与えて下さったTAMA 市民塾及び織茂先生に感謝します。

2023年4月開講講座への多数のご応募、ありがとうございました。

2023.3.4現在

NO.	講座名	応募者数	当選者数	応募倍率	受講料払込済者
1	演劇講座 俳優になってみよう！	27	24	1.1	21
2	絵で読む『源氏物語』～光源氏の一生	51	24	2.1	23
3	音楽事始め	28	24	1.2	20
4	脳、生き活きアート～臨床美術の世界	33	24	1.4	18
5	1つの時代、ある人生～フランス史の女性	22	22	0.9	17
6	都道府県最高峰の登山研究	21	21	0.9	16
7	仏像東漸～インドから日本へ～	43	24	1.8	22
8	植物のTAMAを歩く	78	24	3.3	23
9	木彫～手のひらサイズのネコを作る～	30	24	1.3	22
10	敷居の低い占い講座～占いの世界入門～	47	24	2.0	21
11	世界の街角の幸せを運ぶスーパーの魅力	23	23	1.0	21
12	多摩民族散歩	78	24	3.3	21
13	世界遺産への旅	32	24	1.3	22
14	身近な食材から学ぶ薬膳入門	106	24	4.4	23
15	初めての楽しいウクレレ教室	69	24	2.9	20
計	《講座定員は全講座24名》	688	354	平均1.9	310

TAMA市民塾 日曜連続講座『アジアの中の日本』

第1回は《イスラーム世界とインドネシア》をテーマに講座が開かれました

講師 TAMA市民塾塾長 宮本謙介

日時 2023年3月19日(日) 14:00~16:00

会場 多摩交流センター第2会議室

今後の予定

第2回・6月 在外華人社会とシンガポール

第3回・9月 格差社会とITのインド

第4回・12月 岐路に立つ台湾

